

## 留学生との交流会及びオーストラリア文化体験

本校の国際理解コース1年生と2年生が、AFSを通じて日本に留学をしているミャンマーからの留学生である Zin Wai Htun(トンくん)と交流会を行いました。

国際理解コースの生徒は、クイズを交えながら、英語で津島高校の説明や、和菓子、日本のスポーツ、温泉、アニメ、空手、盆踊り等の日本文化の紹介をしました。

留学生のトンくんは、ミャンマーの文化、名所、行事、学校生活などを英語で説明してくれました。ミャンマーには水をお互いにかけてあう祭りがあること、ミャンマーの高校生は学校が終わったら塾に行くこと、生まれた曜日によって子供につける名前の文字が決まっていることなどをこちらの質問を受けながら、英語で説明をしてくれました。

最後は、本校の国際理解コースの生徒がトンくんにも浴衣の着付けをしてあげ、大きな輪になって盆踊りを踊りました。



午後は、2年生の国際理解コースの生徒が本校の英語科教員の下で、オーストラリアの伝統的なお菓子であるアンザック・ビスケット作りを体験しました。第1次世界大戦中にオーストラリアの女性たちが男性兵士たちのために、栄養価が高く、卵を使わないことで長持ちするビスケットを作ったことを学びました。その後、本校の英語科教員の英語による指示を聞き、2人1組でアンザック・ビスケットを作りました。



国際理解コースの生徒たちは、1日中笑顔を絶やすことなく、交流会やオーストラリア文化体験に参加をすることができました。また、自分の英語力をさらに伸ばしたいと多くの生徒たちが決意した1日でもありました。今後も、学校設定科目の授業、ALTとの交流、留学生との交流会を通じて、英語力を向上させ、異文化理解を深めてほしいと思います。